

常任指揮者：ティエリー・フィッシャー

名フィル
Nagoya Philharmonic Orchestra since 1966

THIERRY FISCHER
Nagoya Philharmonic Orchestra
CHIEF CONDUCTOR

名古屋フィルハーモニー交響楽団

第**361**回

定期演奏会

夏風の中で

Nagoya Philharmonic Orchestra The 361st Subscription Concert In the Summervind



2009.4-2010.3シーズン
＜四季シリーズ＞
2009.4-2010.3 Season
"Four Seasons Series"



〔指揮〕ティエリー・フィッシャー
〈常任指揮者〉

Conductor: Thierry FISCHER

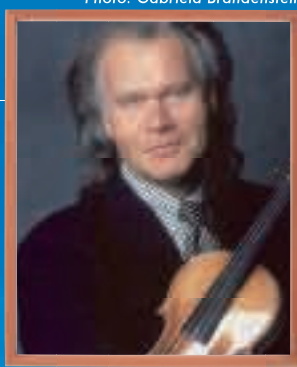


Photo: Gabriela Brandenstein

〔ヴァイオリン〕オーギュスタン・デュメイ*

Violin: Augustin DUMAY*

【ストラヴィンスキー三大バレエⅡ】

Stravinsky: The Three Ballets 2

ウェーベルン 牧歌『夏風の中で』

A. Webern: Idyll "In the Summervind"

ベルク ヴァイオリン協奏曲『ある天使の思い出に』*

A. Berg: Violin Concerto "To the Memory of an Angel"*

ストラヴィンスキー バレエ『火の鳥』全曲

I. Stravinsky: The Firebird (Complete)

2009 **9.4 (金)**

6:45pm開演 (6:00pm開場)

Sep. 4 (Fri.) 6:45pm

9.5 (土)

4:00pm開演 (3:15pm開場)

Sep. 5 (Sat.) 4:00pm

愛知県芸術劇場コンサートホール

Aichi Prefectural Art Theater Concert Hall

- 主催：名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 後援：愛知県・愛知県教育委員会・名古屋市・名古屋市教育委員会・財団法人名古屋市文化振興事業団・朝日新聞社・メーテレ
- 助成：財団法人 ローム ミュージック ファンデーション



1回券料金 (税込)

S席 ¥8,000 A席 ¥7,000 B席 ¥6,000

C席 ¥5,000 D席 完売

Y席 ¥1,000 (24歳以下対象、当日窓口販売のみ)

1回券発売日：2009年5月13日 (水)

割引 (名フィル・チケットガイドのみ取扱)

- いきいき割引 S・A・B・C席を20%割引…65歳以上、障害者手帳をお持ちの方 (介添人1名様まで可) 対象
- ユース割引 S・A・B・C席を20%割引…24歳以下の方 (学生・社会人を問いません) 対象 ※大学生協でも取扱
- 車椅子席 A席を20%割引 (¥5,600) ※要事前予約

チケットお申込み・お問合せ

名フィル・チケットガイド
Tel. 052-339-5666

<http://www.nagoya-phil.or.jp/>

名フィル

検索



ティエリー・フィッシャー 【指揮】

Thierry FISCHER (Conductor)

名古屋フィルハーモニー交響楽団 常任指揮者

1957年生まれのスイス人指揮者。2008年4月、名フィルの常任指揮者に就任。フルートをオーレル・ニコレに師事し、音楽家としてのキャリアを、ハンブルク州立歌劇場およびチューリッヒ歌劇場の首席フルート奏者としてスタートさせた。チューリッヒでは、ニコラウス・アーノンクールにスコアを学び、強い影響を受ける。30代で、体調不良の指揮者の代役として指揮のキャリアを始め、最初のいくつかのコンサートでは、自身がクラウディオ・アバドの下で首席フルート奏者を務めていたヨーロッパ室内管を指揮。アバドは指揮という自身にとっての新たな才能を励ましてくれた。オランダで経験を積んだ後、英国とヨーロッパの一流オーケストラに出演している。

アルスター管の首席指揮者兼芸術アドバイザーを務めた2001-06年には、ブラハ、ニューヨークにツアーを行ない、BBCプロムスにも出演。シューベルト、メンデルスゾーン、ベートーヴェン、ブラームス、シューマン、オネゲルのツィクルスを指揮している。

BBC ウェールズ・ナショナル管の首席指揮者就任披露公演では、フローラン・シュミット「詩篇47番」を指揮。同曲は英ハイペリオン・レーベルのフランス音楽シリーズ第1弾としてレコーディング。両者は2007年にアメリカ・ツアーを行ない、素晴らしい評価を受けた。

タッチの軽さとテクスチュアの明瞭さが優れた特徴であり、それが彼の独特な解釈をもたらしている。鋭い様式感覚を持ち、バッハ、古典派、初期ロマン派から新ウィーン楽派、フランス印象主義にわたる広範なレパートリーに新鮮なアプローチをもたらしている。

Photo: DGG Alvaro Rosendo



オーギュスタン・デュメイ 【ヴァイオリン】

Augustin Dumay (Violin)

現在もっとも卓越した演奏家の一人として、揺ぎ無い地位を確立している。雑誌『ストラッド』では、「イザイ、デュボア、グリュミオーと続く高貴なベルギー楽派の正当な継承者」と評された。

1979年カラヤンの招請により、パリで行なわれたガラ公演に出演したのをきっかけにそのキャリアを広げ、現在ではベルリン・フィル、スイス・ロマン管、ロイヤル・コンサートヘボウ管、ロンドン響、ロスアンジェルス・フィルなど世界の主要オーケストラに出演、コリン・デイヴィス、小澤征爾、シャルル・デュトワ、ヴォルフガング・サヴァリッシュ、スタニスラフ・スクロヴァチェフスキ、フランス・プリュッヘン、マルク・ミンコフスキ、クルト・マズアなど著名指揮者と共演をしている。またコンサートヘボウ、ウィグモア、スカラ座、ベルリン・フィルハーモニー等の一流ホールでリサイタルを行ない、ルツェルン、エクス・アン・プロヴァンス、ラヴィニアなど各地の国際音楽祭にも数多く出演、2002年から2005年にかけてマントン音楽祭の芸術監督を務めた。

CDはドイツ・グラモフォンとEMIからリリースされており、ディスク大賞、グラモフォン・アワード、グラミー賞などを多数受賞している。近年リリースされたCDでは特にマリア・ジョアン・ピリスとの共演による〈ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ全集〉や、弾き振りを行なったカメラータ・ザルツブルクとの〈モーツァルト：ヴァイオリンと管弦楽のための作品集〉が各方面で絶賛されている。最新CDはワロニー王立室内管の弾き振りによるラヴェルとショーンソンの作品集である。演奏活動の傍らベルギーのエリザベス王妃音楽学校では後進の指導も行なっている。

<四季シリーズ> 聴きどころ

第361回定期演奏会「夏風の中で」

ウェーベルン(1883～1945)の瑞々しい標題音楽と、アルバン・ベルク(1885～1935)の内なる尽きせぬ想いがついにあふれ出たかのような傑作が披露される。

『夏風の中で』(1904)はロマン派の息吹を伝える大オーケストラのための牧歌。

アルマ・マラー＝グロビウスの娘マノンの他界を悼んで書かれた**ヴァイオリン協奏曲**(1935)には、バッハへの愛や南オーストリアの民謡旋律ばかりでなく、ベルクの女性観も織り込まれた。近年指揮活動にも意欲を燃やすフランスのヴェテランで、長身も印象的な**オーギュスタン・デュメイ**の至芸が待たれる。

2管編成に「縮小」された1919年版の組曲で聴くことが多い**ストラヴィンスキーのバレエ『火の鳥』**(1910)の全曲演奏に、ほぼ緩む。ロシアの民話に基づくストラヴィンスキーの意欲作(序奏と全2部、都合19曲)は、やはりこのオリジナルの4管編成で聴きたい。神秘も野趣も鮮烈な舞曲もキーワードだ。**ティエリー・フィッシャー**と名古屋フィルの交歓は、さて。

奥田 佳道(音楽評論家)

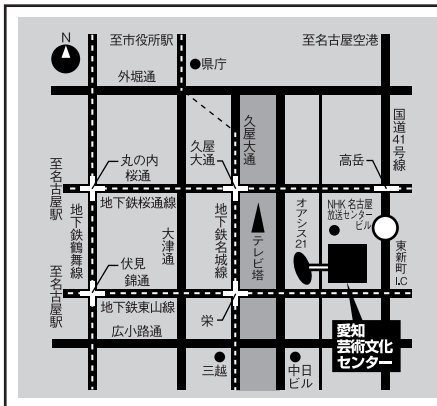
その他のチケット取扱

チケットぴあ(Pコード317-196)・・・0570-02-9999
愛知芸術文化センター内プレイガイド・・・052-972-0430
ナディアパークプレイガイド・・・052-265-2015
市内主要プレイガイド、大学生協でも取扱

記児サービス 1名様 ¥1,000

未就学児童(満1歳以上)対象、要事前予約
お申込み：ポピンズサービス名古屋
Tel. 052-541-2100
(演奏会の3日前く土・日・祝を除くまで受付)

※未就学児童のご入場は、保護者同伴の場合でもご遠慮ください。
※お申込みいただいたチケットのキャンセル・変更は受付いたしてありません。
※やむを得ぬ事情によって、出演者・曲目などを変更する場合がございます。
あらかじめご了承ください。



会場詳細・アクセス情報

愛知県芸術劇場 コンサートホール

〒461-8525
名古屋市中区東桜 1-13-2
愛知芸術文化センター 4F
<http://www.aac.pref.aichi.jp/>

●地下鉄東山線・名城線「栄」駅より徒歩2分
●名鉄瀬戸線「栄町」駅より徒歩2分

本紙は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。